

宮園団地 住まいづくりの活動指針 ～まち・団地編～

1 住み続けられる団地づくり

◆めざす姿～高齢期にも安心して暮らせる住まい・生活環境がある

★ターゲット：今住んでいる高齢世帯の居住継続

2 次世代に選ばれる団地づくり

◆めざす姿 ～若年世帯が暮らしたくなる住まい・生活環境がある

★ターゲット：若年世帯（単身者～子育て世帯）の呼び込み

3 多様な世代や主体が関わりあう団地づくり

◆めざす姿 ～次の世代に誇れる 宮園のまちづくりが動いている

★ターゲット：地元住民や宮園と関わりのある人やグループ、団体、学校、企業、行政

テーマ	視 点	気になるポイント	やってみたいこと・できること		
			自 助	自分で・家族で	共 助 近所で・地域で・企業や学校と 公 助 行政とともに
住み続けられる団地づくり	自治会・担い手	・自治会の担い手の不足→町内会の存続と継承への不安 ・役員の高齢化・人とのつながりが希薄、主張が強い面あり ・役員をしたくない、負担になる(例えば、夜の会議が多い)	・行事に参加して、あいさつをし合える関係になる ・自治会を脱会せず、自分の出来るような活動に参加する ・広報を読む→宮園の今を知る	・役員の定年制→次世代の呼び込み ・町内会活動等の世話に対する報酬支給の検討 ・美鈴が丘団地(広島市)との定期的な交流	・自治会活動に関わる人材育成 ・自治会の運営手法の研修 ・行政も含めた情報交換の場づくり
	見守り	・隣近所や横のつながりが希薄化している ・一人暮らしが増えていく中、孤独死が心配	・名前を覚えて、相手の名前を呼ぶ習慣を大事に ・家族との、まめなコミュニケーションを ・決まった時間に連絡(テレビ電話)し合う習慣を	・普段から近況を伝え合う、お互いに気づかい合う ・年齢層の異なる人々が交流できる場所をみんなでつくる ・(同じ不安をもつ)近隣の団地と交流する機会を持つ	・福祉サービス等と連携による一人暮らし世帯を見守る体制づくり
	空き家	・空き家が増えている気がする ・庭木や草等が管理されていない ・所有者等がわからないから対応が難しい	・自分の家の将来のことについて、子どもや孫と話をする ・空き家にしないように、早くから家族で話し合っておく	・気になる状況になったら、自治会長に伝える ・子どもが帰ってくる仕組みづくりが必要	・リフォームや売却、家財整理、空家活用等を話し合う場づくり ・専門家による講座の開催
	交通・移動	・高齢になると病院や買物の移動手段の確保が心配 ・将来的に路線バスが存続するかどうか不安 ・子どもはバスを使わない(中学校＝歩き、高校＝電動自転車)	・現在の路線バスを使ってみる、習慣にしてみる ・路線バスの時刻表を貼っておく	・身近な方と一緒に路線バスが活用できる場面を考えてみる ・知り合い等で乗合せによる移動を試してみる	・住民や交通事業者、行政等の連携のもとライドシェアを研究する
	買 物	・スーパー等の店舗が身近にない ・上1～3丁目は上り坂がきついので買い物が不便 ・車に乗れなくなると「藤三」へしか行けない	・歩き続けられるよう普段の散歩やスポーツジムで体力維持 ・スーパーのネット注文&配送サービスも試してみる	・新たな店舗の誘致に向けた声がけ ・四季が丘団地のような買物できる環境づくりを検討(店舗がなくなり大手スーパーの移動販売車を誘致)	・都市計画の見直しを通じて、新規出店しやすい環境づくり
	医療・介護	・小林医院の存続 ・入院や手術の保証人の不安(一人暮らしや子どもが遠方の時) ・高齢期に顔見知りと一緒に暮らせるような場があったらいい	・健康に気を付ける、近所の方とふれ合う ・万が一に備えて、連絡先等を書いた紙を保管しておく	・身近な方と病院や介護等の話をする ・高齢期を一緒に過ごせる居場所や施設等を考える	・定期的に医者に往診してもらえるような仕組みづくり
	公園・道路	・樹木や遊具、道路、野球場等の維持管理が不足 ・公園トイレの班清掃は、ほぼ同じ人が参加	・道路や公園の管理や清掃活動等のボランティアに参加 ・街路樹等の水やり	・定期的な公園の点検や管理のサポート ・室内で遊べる場所(夏の暑さや日差しを避けて)	・地域と連携した公園等の定期訪問や適切な安全管理
次世代に選ばれる団地づくり	子どものあそび場	・公園の手入れが不十分で遊ばせることが少し不安	・公園で遊ぶ、利用する ・子どもや孫を宮園に呼び込む創意工夫 ・子育て中のママ/パパへの声がけ、関係づくり	・子どものあそび場＝プレーパークの開設(住民による運営) ・JA宮園管理センターや市民センターのスペース活用	・市内プレーパークとの連携 ・子どものあそび場の魅力化
	学 校	・宮園小学校の児童数の減少、将来的な存続が心配 ・PTA のあり方が変化、地域との連携も必要	・孫の送り迎えをサポートする	・地域と学校の関係づくり(連携や役割分担) ・地域と学校の協働活動 ・地域と連携して全国に誇る宮園小学校のビオトープ活動を	・宮園小学校の魅力化支援 ・多様な主体の連携による学校運営の支援
	若年世帯の呼び込み	・結婚して子どもを持つ若者が少ない ・宮園団地の担い手が不足している、将来への不安	・子どもや孫と一緒に、宮園での暮らしについてを話してみる ・若者の出会いや子育てを手助けする	・若年世帯の子育てを、地域ぐるみで手伝う ・自治会で、高齢者と子どもが一緒にできる行事を行う ・宮園出身者らが地元で同窓会を開く、UI ターンの声がけ	・若年世帯との出会いの場づくり ・同居や近居等の促進策の検討 ・働く場所が身近にあることが有効
多様な世代や主体が関わりあう団地づくり	つながり・関わりあい	・人と人とのつながり、ご近所のつながりが希薄になっている ・宮園への愛着が減ってる？いまの宮園にもっと関心を！	・地域の行事に参加してみる、声を掛け合ってみる ・顔見知りになる 名前を憶える、あいさつする、仲良くなる	・あいさつ運動！みんなでおしゃべりする場づくり ・ボランティア活動に、ありがとうの感謝の気持ちを伝える ・興味や関心のあるまちづくり活動を、一緒にやってみる	・誰でも地域貢献活動が続けることがメリットになるような仕組みを一緒に考える(ポイントとか)
	遊休施設・空き店舗	・JA 宮園管理センターがもっていない ・空き店舗が活用されていない	・宮園団地にどんな店舗や事業所があったらいいか、家族で話してみる ・知り合いの店舗や企業に声をかけてみる	・JA宮園管理センターの活用策について、多様な主体が集まってアイデアを出す、話し合ってみる ・宮園に関心のある方々と一緒に空き店舗巡りをやってみる	・地域住民や団体、JA、行政等と一緒に、JA 施設の活用可能性を考える場をつくる
	防犯・安全	・防犯カメラがない ・防犯灯が少ない ・車のスピードが速くて危険	・あいさつし合う＝お互いに気かけあう ・犬を飼う ・自分の運転が安全かどうか振り返る	・何かあった時のために隣近所とのお付き合いを ・防犯カメラや防犯灯の設置についてみんなで話し合う ・車のスピードを抑えるよう、みんなで声がけ	・注意喚起の標識や看板等の設置 ・安全安心なまちづくりの推進